
召還者の異世界奮闘日記

銀野 臨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

召還者の異世界奮闘日記

【Nコード】

N8852Y

【作者名】

銀野 臨

【あらすじ】

家でテレビを見つつくつろいでいたらいきなり異世界にトリップした翔子

なんやかんやで1年たちこちの世界にも慣れてきて元の世界に変える方法を探しつつ平穏な生活を送っていた　しかしある1人の訪問者によって平和な生活に崩壊の兆しが・・・？

プロローグ（前書き）

文才もないのに勢いで書き始めた小説です

ご都合主義で強引で展開が急ではやいかもです

お目汚しにしなければならないと思うんですが読んでくださったら幸いです！

ブローグ

タイムマシンがあったらいつに戻りたい？

小学生だった頃友達にそんなような質問をされた記憶がある

あの頃の幼かった私はなんて答えたのかは思い出せない

「きつと漢字テストの前がいいなゝえへへ」
というようなことを言っていただろう

もしも、いや今そんな質問をするような人は私の周りにはいないが
もしも、私が今その質問を投げかけられたら全力でそりゃもう全力
で答えるだろう

1年前のあの日に戻せと

この世界にトリップしてしまった日に戻せと

1ページ

「シチューできましたア！！持ってってください！！！！」

私は大声で叫ぶ。

こんなにビックリマークつけてしゃべるのなんてこの時間以外はないよなーというどうでもいいことを頭の片隅で考えつつ次のメニューに取り掛かる。

ここはアネット食堂。

小さな町フェーンの隅にある小さな食堂だ。

小さな食堂だが味は確かなので連日客で大賑わい。よってお昼時となると殺人的な忙しさになる。

だって大賑わいなのに店員が私を含めて4人しかないのだ。

今でさえ殺人的に忙しいのに私が拾ってもらう前は3人で切り盛りしていたというのだからその忙しさを見ると鳥肌が立つ。

1年前、私はこの世界にやってきた。

その日もいつもと同じように過ごしていたのだ。

訳あって高校生なのに一人暮らしをしていた私はそろそろご飯を作ろつかなくなんて考えながらだらだとテレビを見ていた。

そして一瞬まばたきしたらこの世界だった。本当に一瞬で来てしまったのだ。

普通異世界トリップする時って神様が現れてくみたいなくだりがありそうだがそんなもん無くいきなリトリップである。要するに説明

ゼロである。

しかもトリップした時間が最高に空気読めていなかった。
場所はアネットさんの家。そこはいいと思う。人の家だしく小説
に出てくる森とかじゃないし。

しかし！タイミングが悪かったのだ。その日はアネットさんの娘さん
のお葬式の日だった。しかも弔いの儀という家族以外は絶対に立
ち入ってはならない儀式の最中に。

空気を読めないにもほどがあると思う。

幸いといっていいのかはわからないがその時そこにいたのは娘さん
の家族であるアネットさんとアネットさんの1人目の息子のドミニ
クさん、2人目の息子のアドルフくんしかいなかった。

その3人が本当にびっくりした顔をしていたのを覚えている。なん
でも弔いの儀は家族以外は入れないように結界を張るらしい。なの
に私が入ってきたからとんでもなく驚いたと後日言っていた。

まあ私もそれに負けないくらいびっくりしてたけどね！

でも驚きすぎた人間は逆に冷静になるようだ。

私はその例に漏れずものすごく落ち着いていた。普段でもこんなに
落ち着いてねーよってくらい落ち着いていたのだ。なので周りを観
察する余裕が生まれた。

そして余裕が生まれてしまった結果ある考えに至ってしまった。

これは私が好きな小説のジャンルのアレとまったく同じじゃないか？
あの違う世界にレッツゴー！なあのジャンル・・・

い、いやいやいやアレは小説の中だけだっ！ありえないありえないやでも固まってる人たちの目の色と髪の色がありえないくらいカラフルだし家の作りも日本と違う。さらに決定的なのはランプらしきものが浮いていたのだ。空中に、フワッとワイヤーも無く・・・

そこまで考えて背中に汗がたつたのを今でも鮮明に覚えている。そして私は震えながら質問した。

「ここはどこですか？」

記憶喪失者かっ！ってツツコミが現実逃避のように脳内でとんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8852y/>

召還者の異世界奮闘日記

2011年11月26日21時45分発行